

デジタル時代の著作権協議会(CCD)

平成15年度第3回著作権ビジネス研究会 議事録

日時：平成16年2月13日（金）14時～15時半

場所：CRIC 会議室

議案：1. 電子指紋（フィンガープリンティング）技術のデモンストレーション

- NTT 知的財産センタ涉外担当課長 伊能美和子氏

NTT 情報流通婦ラットフォーム研究所 主任研究員 角隆一氏

2. 「バーチャル著作物マーケット」の検証

3. その他

議事内容：

議案1. 電子指紋（フィンガープリンティング）技術のデモンストレーション

コンテンツを特定する技術として開発が進められているフィンガープリンティング技術の一つで、NTTが開発した「学習アクティブ探索法」と「ロバスト・メディア探索法」の2つの技術について、デモンストレーションをしながらご紹介いただいた。

開発の背景：メディア情報が氾濫している中で、自分の作ったコンテンツがどのメディアでどのように使われているかを機械的に探し出す手段として開発。

学習アクティブ探索法：音・映像を、低品質コンテンツも含めて、高速で探索できる技術。放送された楽曲検索・CM統計調査、インターネット上の違法コピー監視などに応用。

ロバスト・メディア探索法：音や映像に何らかの妨害が加わっていても探索が可能な技術。BGMとして流されている非常に音量の小さい音楽、携帯で捉えた音楽・映像でも探索可能である。

議案2. 「バーチャル著作物マーケット」の検証

文化庁が実施した標記「マーケット」の実証実験は1月末で終了し、すでにアンケートの提出期間も終わっているが、CCDとしての意見をまとめたものを、文化庁に提出するため、出席委員から、意見・感想などを聞いた。

主な意見は次のとおり。

- ・登録コンテンツが数千万単位になったとき、利用者側が目的のもの（希望のもの）をどのように検索していくのか。カタログ的な管理方法が必要なのではないか。
- ・契約についてのシステムは非常に良くできていたと思う。ひとつのビジネスモデルの提案としてはよいが、一般の人になじむかどうか。
- ・実証実験の期間がもう少し長いほうがよかった。 など。

議案3. その他

次回開催予定。

WGでの進行状況など。

以上